

男女共同参画に関する市民意識調査結果

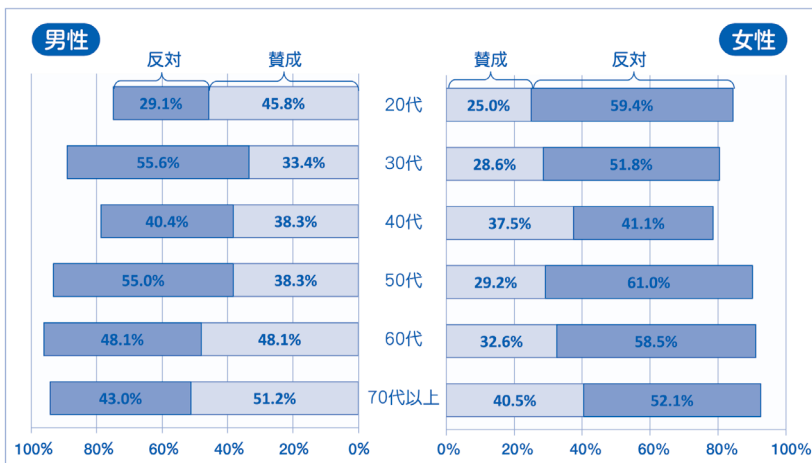
帯広市は、一人ひとりの人権が尊重され、男女が共に生きることできる「男女共同参画社会」の実現に向けて平成22年3月に第二次プランを策定し、男女平等意識の啓発や共に働きやすい環境づくりなどの取り組みを進めています。

平成20年度に行った調査に続き、25年度にも調査を行い、市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や実態を把握しプランの推進に努めています。調査結果の一部を年代・性別で比較してみました。



- 調査対象 帯広市に住所を有する20歳以上の男女2,000人を無作為抽出
- 調査期間 平成26年1月31日～2月14日
- ▲ 有効回収数（率）743件、37.4%

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方



「賛成」～『賛成』・『どちらかといえば賛成』
「反対」～『反対』・『どちらかといえば反対』

『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』
～性別による役割分担意識～

20歳代男性の「反対」が他の年代と比べると少なく、30歳代では男性の「反対」が女性の「反対」を上回っています。

全体的には、前回調査に比べると「賛成」が減少しており（前回41.7%→今回38%）、緩やかではありますが意識の変革を見ることが出来ます。

なお、国の調査では、「賛成」が増加しており（前回41.3%→今回51.6%）、これに比較すると帯広市はかなり低い数値になっています。

政治の場での男女比は？

女性議員／議員数 (%)	
帯広市議会	7 / 32 (21.9)
北海道議会	8 / 98 (0.8)
衆議院	39 / 480 (7.9)
参議院	39 / 242 (16.1)

※上記数値は市議会（H26.5.16現在）、北海道議会（H26.9.18現在）、衆議院・参議院（H25.11現在）

各分野での男女の地位の平等感

	性別	今回調査 (%)			今回全体 (%)	前回全体 (%)
		男性優遇	女性優遇	平等		
社会通念・慣習など	男	70.7	3.0	17.2	12.1	9.9
	女	74.9	3.2	8.1		
政治の場	男	62.1	2.1	23.2	15.2	14.5
	女	73.1	0.4	8.8		
職場	男	65.7	6.9	19.3	16.7	12.2
	女	67.7	4.6	14.7		
家庭生活	男	45.8	9.3	39.2	33.8	23.8
	女	53.5	9.5	29.6		
学校教育の場	男	11.7	4.8	65.7	57.9	55.3
	女	20.8	4.1	51.8		

「男性優遇」～「男性が非常に優遇」、「どちらかといえば男性」の計
「女性優遇」～「女性が非常に優遇」、「どちらかといえば女性」の計

『各分野での男女の地位の平等感について』

男女共に男性が優遇されていると感じており、平等感はずべての分野で女性の方が低くなっています。法の下では男女平等であります。日常生活の中ではまだまだ男性優遇の分野が多くみられます。

しかし、前回調査と比べるとすべての分野で平等と感じる人の割合が増加しています。